

自治連だより

～昭島市自治会連合会～



◇第4号◇ 発行：平成24年8月

平成24年度 自治会長研修会・開催

■7月18日(水)9時半から、昭島市民交流センターにて多くの自治会長が参加し、平成24年度自治会研修会を実施しました。■はじめに自治連の小野会長から、本日の研修会の内容を是非自治会の活動に活かしてほしい旨の挨拶があり、次に、宮田副会長から11月までの自治連活動の事務連絡を行いました。

■研修に入り、昭島市社会福祉協議会 日下事務局長より『災害ボランティアセンター立ち

上げ説明』があり、同協議会の齋藤係長より昨年の東日本大震災の際、被災地で活動支援のために、福島県相馬市に派遣された時の体験の報告がありました。



自治会活動で 取り戻そう 地域の絆！



■次に山崎晴雄教授(公立大学法人首都大学東京)より、『立川断層って危ないのか？—地震を知り正しく恐れよう—』をテーマに、本年4月に東京都が公表した立川断層の震度予測改定資料も紹介しながら、1時間半にわたり講演がありました。■活断層についていろいろな角度から説明があり、活断層が動くとうなるのか等を過去の事例を基に、活断層と地震の関係や発生確率等の説明があり、なぜ立川断層が注目されるのかを

3.11 東日本大震災以降の活断層の長期評価や、立川断層と名栗断層で構成されている立川断層帯の撓み変形による緩い坂の紹介等、立川断層について貴重な学習の場となりました。

■講師より『立川断層は将来、必ず大地震を起こす。直下地震も／いつ活動するか不明／不安解消には地震や活断層の知識を増やし、

誤解や風評を排除することが大切／立川断層は周期や最終活動時期、横ずれかあるいは逆断層かなど解決困難な問題が残っている／武蔵野台地は地盤が良く関東大震災の被害は小さかった。しかし、現在は周辺環境が当時とは大きく異なっている／本当に恐ろしいのは、断層のずれではなく”火災と崖崩れ”／火災に対する防火・延焼防止対策、都市の不燃化対策が必要／脅しの防災から理解する防災へ。危険を知り冷静に対応することが大事です』との、まとめがありました。最後に参加の自治会長から多くの質問があり、貴重な講演会となりました。



■発行・編集

昭島市自治会連合会 TEL:544-5111

■自治会連合会のホームページ

<http://www.akishima-jichiren.jp/>